

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。今月は小松総合支所から「読み聞かせボランティア団体の活動」について紹介します。

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地
TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048



▲子どもたちの反応を見ながら話す河渕代表(中央)

読み聞かせボランティア「おはなし松っこ」の活動

読み聞かせがはぐくむ 子どもたちの成長

誰しも子どものころに絵本を読んでもらったことがあるのではないのでしょうか。

今回は、子どもたちに絵本や昔話などの読み聞かせをしているボランティア団体「おはなし松っこ」をご紹介します。

「おはなし松っこ」の活動

「おはなし松っこ」は、小松温芳図書館で毎月おはなし会を開催しており、毎回20人から50人くらいの親子が参加しています。

季節ごとにテーマを決めて読み聞かせの内容を考えており、絵本だけでなく、歌いながらみんなでできる手遊びやパネルに手作りの人形を貼り付けながらお話をするパネルシアターなど、子どもだけでなく大人も引き込まれています。また、牛乳パックや折り紙を使っておもちゃを作るおもちゃ教室や、親子読書会を開いたり、こどもの日やクリスマスなどのイベント時には、

簡単な折り紙等をプレゼントしています。

最近では、市内の保育所等でのおはなし会も開催しています。

真心を込めて読むこと

代表の河渕律子さんにお話を伺いました。

「読み聞かせボランティアを始めたきっかけは、孫に絵本を読んでいる時に、読み聞かせを通じてもつと子どもたちに絵本に親しんでもらえるような活動をしたと思ったからです」

「最初は西条地区の読み聞かせグループで活動していましたが、小松温芳図書館の方に誘われ平成18年4月からおはなし会を始め、翌年6月には手伝ってくれる方と『おはなし松っこ』を立ち上げました」



▲親子一緒に絵本の世界に引き込まれます



▲おもちゃ教室では動くおもちゃづくりに挑戦！

影あそび劇「イソポさんのおくりもの」をクリスマス会を兼ねて開催！

小さなお子さんから大人まで、ワクワクドキドキの影あそびの世界にぜひご参加ください。お待ちしております。

- 日時：12月4日(土) 13時30分～14時30分
- 場所：小松公民館2階ホール
- 問合せ：おはなし松っこ 代表・河渕 TEL0898-72-2852

親子の絆を深める

気をつけているのは、文字どおりに絵本を読むのではなく、絵から言葉を引き出すこと、聞き手の子どもたちとコミュニケーションを取りながら進めること、そして一番大切なのは真心を込めて読むことです」

「お話を聞きながら子どもたちはたくさん知識を吸収しています。そして私も子どもたちから返ってくる笑顔や言葉から、生きるパワーをもらっています。これからも読み聞かせで、子どもたちの成長を感じたり親子の読み聞かせの一助になれば、そして子どもたちに喜んでもらえるとうれしいですね」と、笑顔で話してくださいました。

「おはなし松っこ」の方にたくさん絵本を真心を込めて読んでもらいながら、子どもたちはさまざまな生き方を心に刻んでいきます。お母さんの膝の上で聞く子どもたちは、体にぬくもりを感じながら、心に楽しい思い出を残していくことでしょう。

また、お母さんも読み聞かせの楽しさを経験することによって、子どもへの絵本の大切さや面白さを学びます。それは家庭での読み聞かせにも活かされ、親子が向き合う時間を増やし、絆を深めることにつながっていくのではないのでしょうか。